特集　歴史観光と交流の新たな拠点

# 「まちの駅やながわ」オープン

4月26日、「まちの駅やながわ」がオープンしました。まちの駅やながわは、梁川地域に残る伊達氏関連の史跡や美術館などを巡る観光・散策の拠点であり、誰もが気軽に立ち寄れる「情報の発信と休憩の場」、「訪れる人と地元の人々の交流の場」となる施設です。まちの駅やながわの魅力や周辺の見どころを紹介します。

## 発信する

かつて梁川城を拠点としていた伊達氏や松前氏の資料などをミニギャラリーに展示し、伊達の歴史や地域の魅力を発信するほか、地元農産物などを販売します。

観光案内図や情報掲示板を設置

地元産の農産物などを販売し、伊達の魅力を市内外にPR

**蠣崎波響（かきざきはきょう）人物花鳥画展**

オープン記念として、松前氏梁川藩の家老で絵師であった蠣崎波響の人物・花鳥画を6月26日㈫まで館内のミニギャラリーに展示します。

あんぽ柿を使ったシャーベットや、梁川町白根地区の特産品「もろこし」を使った団子などを販売

## 憩い、交流する

休憩や食事ができる、くつろぎコーナーを設置し、市民や来訪者が交流する拠点となります。また、イベント広場を備え、イベントなどの開催を通じて、まちのにぎわい創出につなげます。

うどんやそば、ピザなどの軽食を提供。写真は伊達鶏のもも肉が入った、食べごたえ抜群の「ゴロゴロ肉うどん」（580円）

くつろぎながら休憩や交流を楽しむことができる

### まちの駅とは？

市民や来訪者が買い物や散策の途中で無料で利用できる、地域の情報案内や休憩の場所です。市内には、全国まちの駅協議会から商店や直売所など18カ所が認定されています。まちの駅やながわは、新設した単独館としては市内初のまちの駅となります。

まちの駅
やながわ

梁川町字大町一丁目60　☎573-7235

［営業時間］　9時～18時

［定休日］　年末年始（12月29日～1月3日）

［駐車場］　11台

# やながわ 歴史と文化のお散歩マップ

梁川地域には、伊達氏や松前氏などに関連する史跡や文化財のほか、美術館などの施設があります。伊達の歴史や文化を感じながらお散歩してみませんか？

## 1 興国寺

上杉氏の家臣で、梁川城代の須田長義が旧地・信濃国の興国寺から和尚を招いて開山しました。猛将として名高い長義は、松川の戦いで伊達政宗の軍勢を撃退する武功を立てました。境内には、須田満親・長義親子の霊廟「浄慶廟」があります。

## 2 梁川天神社

社伝では、伊達氏の遠祖とされる山蔭中納言政朝が建立したと伝えられています。境内には、松前氏梁川藩の家老、蠣崎波響が奉納した石灯篭があり、市有形文化財に指定されています。

蠣崎波響献納石灯篭

## 3 梁川八幡神社

古くから信仰があった神社で、伊達氏領となってからは、伊達氏の氏神として保護を受け、江戸期には伊達六十六郷の総社として栄えました。

天正10（1582）年、若き日の伊達政宗は、この神社で戦勝祈願をしたとされています。

### チェックポイント①

**愛姫（めごひめ）輿受渡しの場所**

梁川八幡神社本殿の左手に、政宗のもとへ嫁いできた三春の田村氏の娘・愛姫を、伊達家の家臣が出迎えたとされる場所があります。

愛姫

© 福島ガイナックス／福島県伊達市

## 4 龍宝寺

梁川八幡神社に隣接していて、梁川八幡宮の別当寺（神社を管理する寺）でした。山門、鐘楼ともに茅葺（かやぶ）き屋根の趣のある建築物です。境内の鬼石観音堂は、信達三十三観音巡礼の第三十三番札所です。

大枝城跡の遠景（梁川大橋から）

城跡にある石碑

### チェックポイント②

**あの人と縁がある大枝城跡**

梁川大橋から大枝城跡の遠景を見ることができます。9代政宗（「独眼竜」で知られる政宗は第17代）の弟である孫三郎宗行は、大枝城に居城を築き、大枝氏と名乗りました。

市の「伊達なふるさと大使」を務めるサンドウィッチマンの伊達みきおさんは、孫三郎宗行の子孫にあたります。

## 5 やながわ希望の森公園

公園周辺はかつて松前氏の御用林でした。園内の「お林沼」の名前は、それに由来しています。

野草・薬草園には、17代政宗にゆかりのある「臥龍梅」があります。政宗は豊臣秀吉の命で朝鮮出兵した際に梅の木を持ち帰り、瑞巌寺（宮城県松島町）に植えました。園内にある臥龍梅は、瑞巌寺の臥龍梅から分枝されたものです。

臥龍梅は３月中旬から下旬頃に見ごろを迎える

17代 政宗

© 福島ガイナックス／福島県伊達市

本丸跡庭園「心字の池」

## 6 梁川城本丸跡

鎌倉時代に築城されたと伝えられています。14代稙宗が桑折西山城に移るまで、伊達氏の本拠でした。江戸期には、上杉、尾張徳川家の分家松平氏、松前氏の居城となりました。

現在残る「心字の池」は、14代稙宗の頃に作庭され、東北では唯一残る守護大名の庭園です。

12代 成宗

© 福島ガイナックス／福島県伊達市

## 7 古町観音堂

伊達家の建立といわれており、12代成宗が再建したと伝えられています。

貞享２（1685）年に修理され、当時の梁川藩主・松平義昌（尾張藩２代藩主・徳川光友の子）やその家老の銘が見えます。

## 8 梁川美術館

梁川町出身の彫刻家・故太田良平氏の作品を展示しているほか、市内の芸術愛好家の皆さんの作品発表の場となっています。定期的に企画展を開催しており、多くの人が訪れています。

4代 政依

© 福島ガイナックス／福島県伊達市

### チェックポイント③

**岩地蔵**

広瀬川にある磨崖仏（まがいぶつ）群。風化が進んでいるものの、かつて岩地蔵の下には、伊達五山（※）のひとつである東昌寺に続く参道があったと考えられています。

**※伊達五山**

4代政依（まさより）が自身と先祖のために創建した東昌寺、満勝寺、光明寺、観音寺、光福寺のこと。東昌寺は伊達五山の筆頭として重要視される、格式高い寺院でした。